

レジメン名

Ph陽性ALL寛解導入療法

出典 JALSG ALL208

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

Ph陽性ALL(60歳以上*)

進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

* 出典では60歳以上65歳未満だが、田所医師より上記で登録と。

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

Cr	2.0mg/dL以上		
T-bil	2.0mg/dL以上		
その他			

1クール期間 42日

総クール数 1クール

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ダウノルピシン(ダウノマイシン)	30mg/m ²	輸液100mL	30分	d1-3
ピンクリスチン(オンコピン)	1.3mg/m ² (上限2mg)	輸液100mL	30分	d1、8、15、22
シクロホスファミド(エンドキサン)	800mg/m ²	輸液500mL	3時間	d1
プレドニゾン	60mg/m ²	経口		d1-7
イマチニブ	600mg/body	経口		d8-42
メトトレキサート(メソトレキセート)	15mg/body	髄注		d29
シタラビン(キロサイド)	40mg/body	髄注		d29
デキサメタゾン	3.3mg/body	髄注		d29

1日投与順
(経時的にプレメタキーション・ポストメタキーション、溶解液まで含む)

day1
 ①グラニセロン3mg/ハック(15-30min)
 ②ダウノマイシン30mg/m²+輸液100mL(30min)
 ③オンコピン1.3mg/m²+輸液100mL(30min)
 ④エンドキサン800mg/m²+輸液500mL(3hr)
 ⑤生食50mL(フラッシュ用)

day1-7
 ①プレドニン60mg/m²(経口)

day2、3
 ①グラニセロン3mg/ハック(15-30min)
 ②ダウノマイシン30mg/m²+輸液100mL(30min)
 ③生食50mL(フラッシュ用)

day8、15、22
 ①生食50mL(ルート確保用)
 ②オンコピン1.3mg/m²+輸液100mL(30min)
 ③生食50mL(フラッシュ用)

day8-42
 ①イマチニブ600mg/body(経口)

day29
 ①メソトレキセート15mg+生食2-6mL(髄注)
 ②キロサイド40mg(髄注)
 ③デカドロン3.3mg(髄注)